

第4回経営協議会記録

日 時 平成22年1月21日(木) 14:59~16:54

場 所 柏原キャンパス事務局棟 小会議室

出席者 長尾学長

梶本, 高倉, 高橋, 竹村, 俵, 辻井, 栗林, 岩川, 木立, 成山, 坪内

以上各委員

陪席者 野口監事, 西監事

開会に先立ち、長尾学長より議事の進め方について、まず報告事項(1)を行い、その他については開催通知の順に進める旨の発言がなされた。引き続いて、平成21年度第3回経営協議会記録(案)の確認が行われ、修正意見も踏まえて次回再度確認することとなった。

報告事項(1) 平成22年度概算要求内示について

坪内管理部長から資料に基づき説明がなされた。

議題(1) 第2期中期目標期間における財務に関する戦略的方針(アクションプラン)について

坪内管理部長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

【主な質疑】

- ・ 本アクションプランに続く今後のより具体的な展望というものはどのようなものなのかとの質疑に対して、ベースとなる予算構造そのものを含めて不確定要因が多々あり、まだ確定的なことは言えないが、第2期ではより明確に方向性を示していきたいとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 各教育大学においては授業料等の収入ベースが画一化されている中で、財務の独自性を打ち出している例などはないのかとの質疑に対して、非常勤講師の時間数の上限を設けるなどの措置が取られている例があるとの答弁が長尾学長よりなされた。

議題(2) 第2期中期目標期間・中期計画について

岩川理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

【主な質疑】

- ・ これまで国立大学が主として担ってきた初等教員養成について、規制緩和により私立大学でも課程認定されるようになってきたが、国立大学は、国立の立場でのみ議論を進めているところがあるのではないかと思う。今後は、国公立の中で国立大学としてどうするのかというような発想も必要なのではないかとの提言がなされた。
- ・ 教員養成を巡ってはさまざまな課題が取りざたされ、国の政策がどうなるかということも注視する必要があるが、本学としては、めりはりをつけながらも柔軟に対応していくバランスが必要だとの提言がなされた。

報告事項(2) 新制60周年記念大学改革シンポジウムの実施について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(3)

1) 平成20年度業務実績評価について

平成20年度業務実績評価において指摘された本学の具体的課題に対する方策について長尾学長より報告がなされた。

2) 大学入試センター試験（追試験）について

長尾学長から、追試受験者数が予想を大幅に下回ったことから本学は試験会場とはならなくなったこと、また、今後予定している前・後期の大学個別試験においては追試験の日程を設けて備えているとの報告がなされた。

以 上